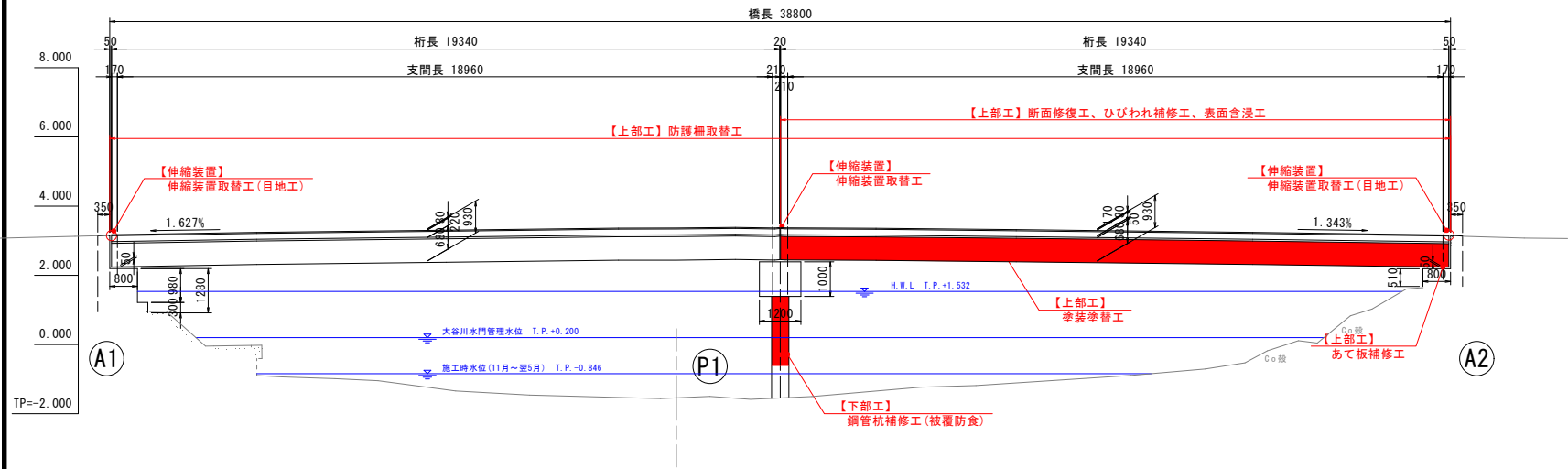


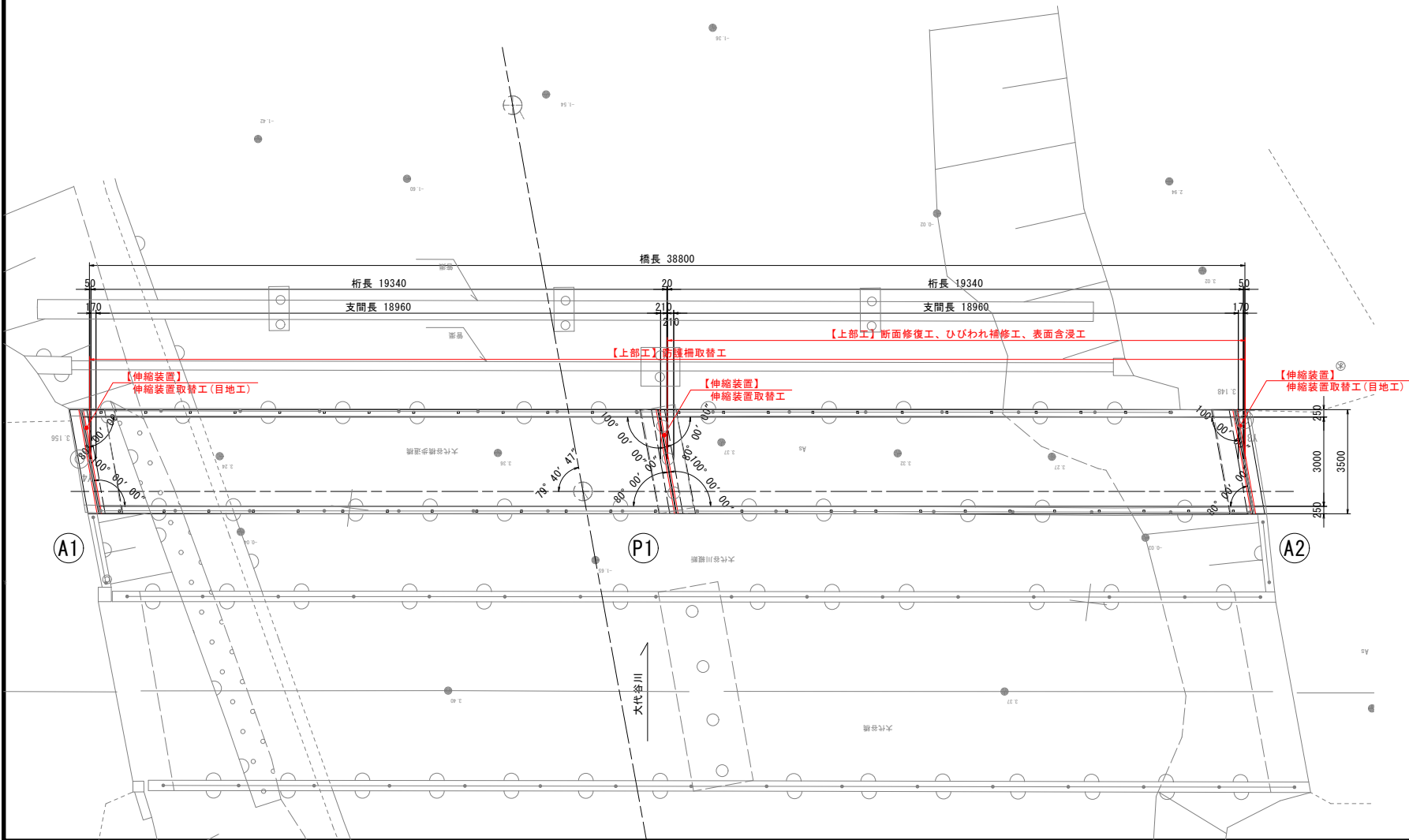
補修一般図 S=1:100

大代谷橋歩道橋

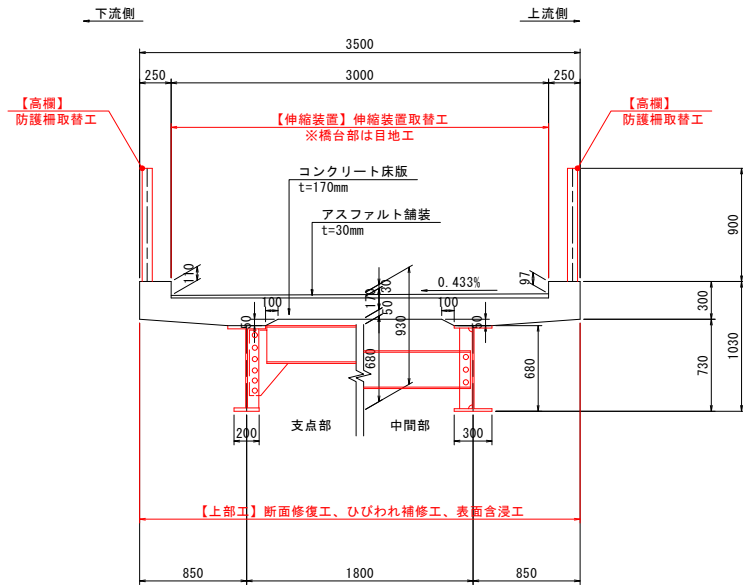
側面図



平面図



断面図 S=1:30



設計条件

道路条件	
路 線	市道 木津野松村線
道路規格	不明
設計速度	不明
設計荷重	不明
大型車交通量	-
計画交通量	-
交差物件	一級河川吉野川水系 大代谷川
幾何条件	
橋 名	大代谷橋歩道橋
橋 長	L=38.800m
桁 長	19.340m + 19.340m
支 間 長	18.960m + 18.960m
総 幅 員	3.500m
有効幅員	3.000m
斜 角	$\theta = 79^{\circ} 40' 47''$ (道路中心)
平面線形	$R = \infty$
縦断勾配	$i = 1.627\%$ (／) $\sim 1.343\%$ (＼)
横断勾配	$i = 0.433\%$ (／)
構造形式	
上部工	鋼溶接橋 1桁橋(非合成)
舗 装	アスファルト舗装 $t=30\text{mm}$
下部工	逆T式橋台(A1, A2橋台)、バイルベント橋脚(鋼製)(P1橋脚)
基礎工	不明(A1, A2橋台)、バイルベント基礎(P1橋脚)
支 承	線支承

図面番号	第 1 号		図面総数	全 14 葉		
工事名称	大代谷橋歩道橋橋梁補修工事					
図名	補修一般図			縮尺(A1)：図示		
製作年月	令和 7 年 7 月		所属年度		令和 7 年度	
係員	課長	副課長	係 長	係 員		設計・製図
						照査
鳴門市 都市建設部 土木課						

大代谷橋歩道橋

- ※ 使用する材料の仕様に基づいて施工すること。
- ※ 補修部縁線は、フッポリエッジが生じないようにかッターで切れ込みを入れること。
- ※ 鉄筋のふり厚が薄い場合は、ポリマーセメント珪砂で10mm以上は確保するように盛って埋り付ける形で断面修復を行うこと。施工時の養生等の残骸は可能な限り除去して断面修復すること。
- ※ けいこう土は適宜調整するものとし、脆弱部は完全に除去してから充填を行うこと。
- ※ 鉄筋がけいこう土と密着しない場合は、既設鉄筋の両面、既設部材の粗骨材に付着剤を塗布すること。(10～20mm程度)
- ※ 補修部材の粗骨材が露出した場合は、補修部材の粗骨材に付着剤を塗布し、健全部を露出したポリマーセメント珪砂土等を散布を充填して復旧すること。
- ※ けいこう土はけいこう土が確認された場合は骨髄を除去した後、鉄筋防錆剤を散布すること。

```

graph TD
    Start([開始]) --> Step1[ひび割れ部の清掃]
    Step1 --> Step2[注入用パイプセット]
    Step2 --> Step3[ひび割れ面シール]
    Step3 --> Step4[注 入]
    Step4 --> Step5[パイプ撤去]
    Step5 --> Step6[シール材撤去]
    Step6 --> End([終了])
  
```

ひび割れ調査

パイプ間隔確認

シール材の養生

注入量の確認・養生

注) 施工時に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 規格は、エポキシ樹脂注入材 1種(下部工)、3種(上部工)同等品を推奨とする。
注) 基本的にひび割れ幅 0.2～1.0mm以下を対象にひびわれ注入による補修とする。
注) 遮離石灰砂は研掃して状態を見極めて、補修すること。
注) 損傷状況により補修工法に変更が生じる場合は、監督員と協議の上、最終決定すること。

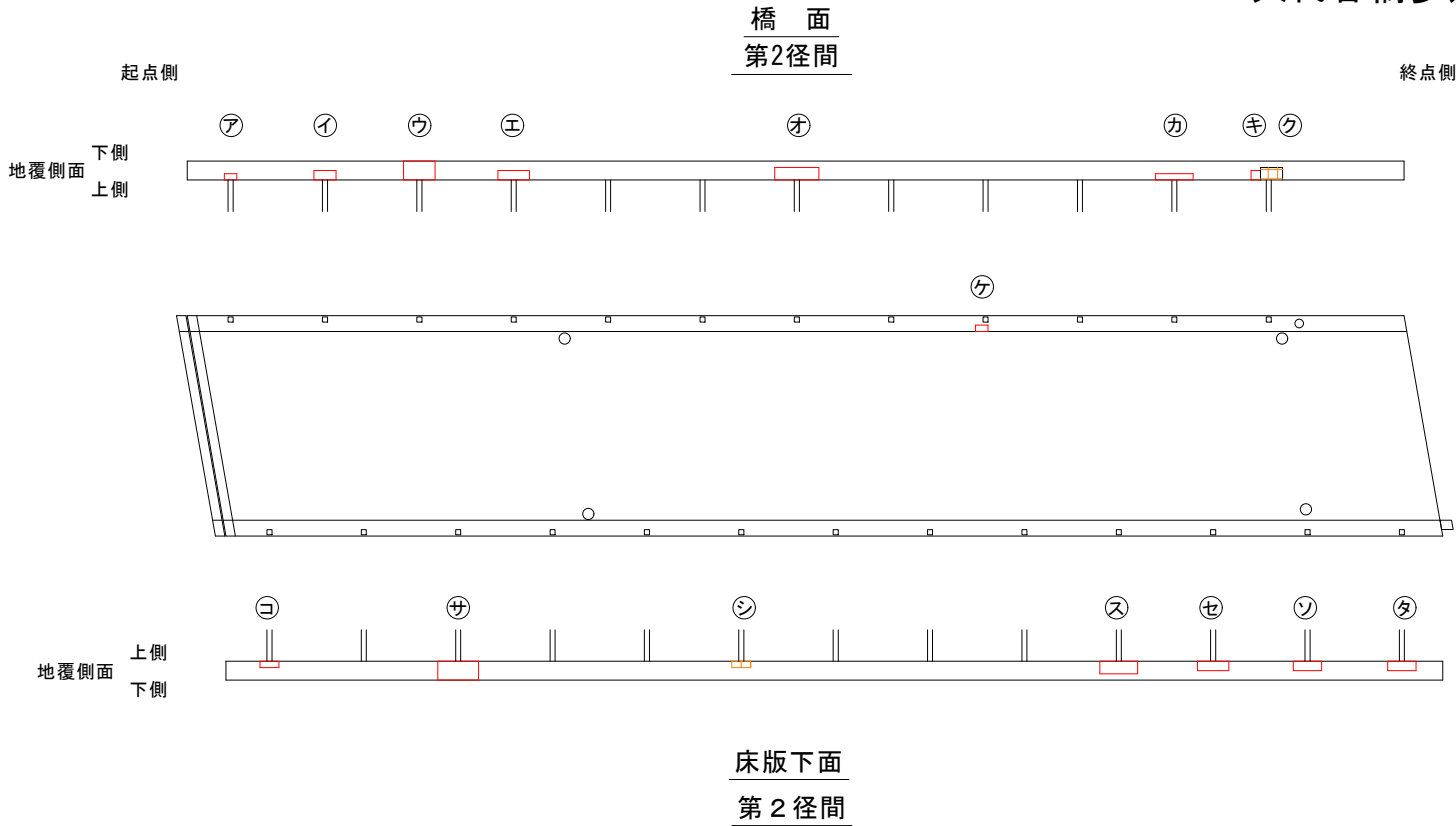
新設水切り
ウォーターカッター同等品以上

Technical drawing of a bridge section. The drawing shows a cross-section of a bridge with a total length of 38800. The bridge is divided into three spans: two side spans of 19340 and a central span of 18960. The drawing includes labels for the bridge length (橋長 38800), span length (桁長 19340), and span interval (支間長 18960). The drawing also shows the bridge structure, including the piers (A1, P1, A2) and the bridge deck. The drawing is labeled with dimensions: 50, 170, 20, 210, 210, 20, 250, 3000, 250, 20, 250. The drawing is labeled with the text: 水切り設置延長 19340.

注1) 水切りと床版の接着性、施工性、水切り機能を確保するため、床版の端から50mm程度の余裕しろを確保すること。

図面番号	第 2 号	図面総数	全 14 葉			
工事名称	大代谷橋歩道橋橋梁補修工事					
図名	補修詳細図(その1)		縮尺(A1):図示			
製作年月	令和7年7月	所属年度	令和7年度			
係員	課長	副課長	係 長	係 員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課						

補修詳細図(その2) S=1:60
大代谷橋歩道橋



断面修復面積(左官工法)

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m2]	体積 V [m3]
地覆0101	ア	剥離	200	100	50	0.0200	0.0010
地覆0101	イ	剥離	350	150	50	0.0525	0.0026
地覆0101	ウ	剥離	500	300	50	0.1500	0.0075
地覆0101	エ	剥離	500	150	50	0.0750	0.0038
地覆0101	オ	剥離	700	200	50	0.1400	0.0070
地覆0101	カ	剥離	600	100	50	0.0600	0.0030
地覆0101	キ	剥離	150	150	50	0.0225	0.0011
地覆0101	ク	うき	350	350	50	0.1225	0.0061
地覆0101	ケ	剥離	200	100	50	0.0200	0.0010
地覆0201	コ	剥離	300	100	50	0.0300	0.0015
地覆0201	サ	剥離	650	300	50	0.1950	0.0098
地覆0201	シ	うき	300	100	50	0.0300	0.0015
地覆0201	ス	剥離	600	200	50	0.1200	0.0060
地覆0201	セ	剥離	500	150	50	0.0750	0.0038
地覆0201	ソ	剥離	450	150	50	0.0675	0.0034
地覆0201	タ	剥離	450	150	50	0.0675	0.0034

断面修復面積(左官工法)

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]	深さ t [mm]	面積 A [m2]	体積 V [m3]
床版0101	ア	鉄筋露出	200	200	50	0.0400	0.0020
床版0101	イ	鉄筋露出	200	150	50	0.0300	0.0015
床版0101	ウ	豆板	500	350	50	0.1750	0.0088
床版0101	エ	鉄筋露出	200	100	50	0.0200	0.0010
床版0101	オ	豆板	300	250	50	0.0750	0.0038
床版0101	カ	豆板	400	100	50	0.0400	0.0020
床版0101	キ	剥離	100	100	50	0.0100	0.0005
床版0101	ク	剥離	50	50	50	0.0025	0.0001
床版0101	ケ	鉄筋露出	150	150	50	0.0225	0.0011
床版0101	コ	鉄筋露出	200	200	50	0.0400	0.0020
床版0101	サ	鉄筋露出	250	250	50	0.0625	0.0031
床版0101	シ	鉄筋露出	150	200	50	0.0300	0.0015
床版0101	ス	鉄筋露出	150	150	50	0.0225	0.0011
床版0101	セ	剥離	100	300	50	0.0300	0.0015
床版0101	ソ	鉄筋露出	200	150	50	0.0300	0.0015
床版0101	タ	鉄筋露出	200	200	50	0.0400	0.0020
床版0101	チ	鉄筋露出	200	100	50	0.0200	0.0010
床版0101	ツ	豆板	400	150	50	0.0600	0.0030
床版0201	テ	剥離	400	50	50	0.0200	0.0010
床版0201	ト	剥離	250	50	50	0.0125	0.0006
床版0301	ナ	鉄筋露出	200	200	50	0.0400	0.0020
床版0301	ニ	鉄筋露出	250	150	50	0.0375	0.0019
床版0301	ス	豆板	400	200	50	0.0800	0.0040
床版0301	ホ	うき	150	200	50	0.0300	0.0015
床版0301	ハ	鉄筋露出	150	150	50	0.0225	0.0011
床版0301	ニ	うき	250	150	50	0.0375	0.0019
床版0301	ヒ	鉄筋露出	300	100	50	0.0300	0.0015
床版0301	フ	剥離	50	50	50	0.0025	0.0001
床版0301	ヘ	豆板	600	100	50	0.0600	0.0030
床版0301	ホ	剥離	50	100	50	0.0050	0.0003
床版0301	マ	剥離	50	50	50	0.0025	0.0001
床版0301	ミ	うき	100	100	50	0.0100	0.0005
床版0301	ム	剥離	100	100	50	0.0100	0.0005
床版0301	メ	うき	200	100	50	0.0200	0.0010
床版0301	モ	鉄筋露出	350	200	50	0.0700	0.0035
床版0301	ヤ	剥離	50	50	50	0.0025	0.0001
床版0301	ユ	鉄筋露出	150	200	50	0.0300	0.0015
床版0301	ヨ	鉄筋露出	100	150	50	0.0150	0.0008
床版0301	ラ	うき	150	150	50	0.0225	0.0011
床版0301	リ	鉄筋露出	150	100	50	0.0150	0.0008
床版0301	ル	うき	450	500	50	0.2250	0.0113

ひびわれ延長(注入工)

部材	No.	種別	幅 W [mm]	延長 L [mm]
床版0201	1	床版ひびわれ	0.2	920
床版0201	2	床版ひびわれ	0.2	1200
床版0201	3	床版ひびわれ	0.2	1200
床版0201	4	床版ひびわれ	0.2	1200
床版0201	5	床版ひびわれ	0.2	1200
床版0201	6	床版ひびわれ	0.2	1210
床版0201	7	床版ひびわれ	0.2	1220
床版0201	8	床版ひびわれ	0.2	1220
床版0201	9	床版ひびわれ	0.2	890
床版0201	10	床版ひびわれ	0.2	1220
床版0201	11	床版ひびわれ	0.2	1180
床版0201	12	床版ひびわれ	0.2	1200
床版0201	13	床版ひびわれ	0.2	1230
床版0201	14	床版ひびわれ	0.2	450
床版0201	15	床版ひびわれ	0.2	600

《補修工法一覧表》

損傷	補修工法
ひび割れ幅0.2mm未満	—
ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満	ひび割れ注工
ひび割れ幅1.0mm以上	ひび割れ充填工
遊離石灰	ひび割れ充填工
剥離・鉄筋露出	断面修復工
うき・豆板	断面修復工

《ひび割れの線種》

-----	ひび割れ幅0.2mm未満
-----	ひび割れ幅0.2mm以上1.0mm未満
-----	ひび割れ幅1.0mm以上および遊離石灰

凡	例
ひびわれ	
うき	
剥離	
鉄筋露出	
遊離石灰	
豆板・空洞	
漏水・滞水	

注) 足場架設後に現地実測の上、数量を確定すること。
注) 基本的に0.2mm以上のひび割れを補修対象とする。
注) 遊離石灰を伴う箇所は、要調査の上で補修すること。
遊離石灰により、注入が困難な場合はUカット工法(もしくはVカット工法)で取り除き、ポリマーセメントモルタル埋戻による充填工法に変更し補修すること。
注) 記載無きひび割れはひび割れ幅0.2mmを示す。

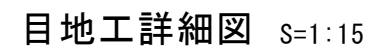
凡例

- ①～:ひびわれ注入工法
⑦～:断面修復工法

図面番号	第 3 号		図面総数	全 14 葉		
工事名称	大代谷橋歩道橋橋梁補修工事					
図名	補修詳細図(その2)				縮尺(A1) : 図示	
製作年月	令和 7 年 7 月		所属年度		令和 7 年度	
係員	課長	副課長	係 長	係 員		設計・製図
						照査
鳴門市 都市建設部 土木課						

大代谷橋歩道橋

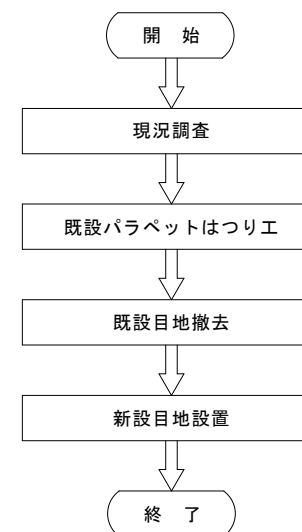
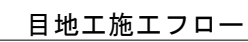
床版下面



A2橋台部



地覆部



躯体コンクリート

下地処理 (部分補修・清掃)

プロテクトシルCIT同等品以上

標準塗布量: 0.6 kg/m²

```

graph TD
    A[はつり(鉄筋まではチップー)] --> B[はつり(鉄筋背面電動ピック)]
    B --> C[サンドブラストによる除錆(Sa2)]
    C --> D[鉄筋防錆剤塗布]
    D --> E[プライマー塗布]
    E --> F[断面修復材充填  
(ポリマーセメントモルタル)]
    F --> G[プロテクトシールIT同等品以上塗布(コンクリート)]
  
```

図面番号	第 4 号	図面総数	全 14 葉
工事名称	大代谷橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	補修詳細図(その3)		縮尺(A1): 図示
製作年月	令和7年7月	所属年度	令和7年度
係員	課長	副課長	係長
	係員		設計・製図
照査			
鳴門市 都市建設部 土木課			

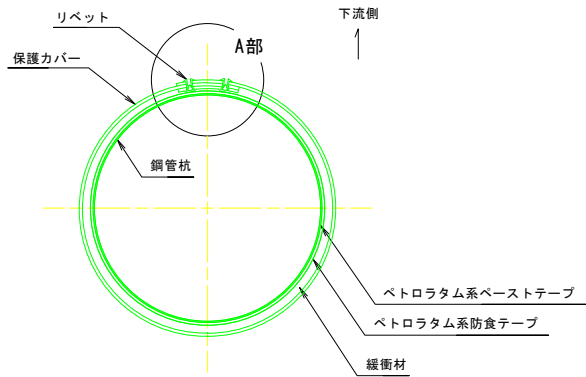
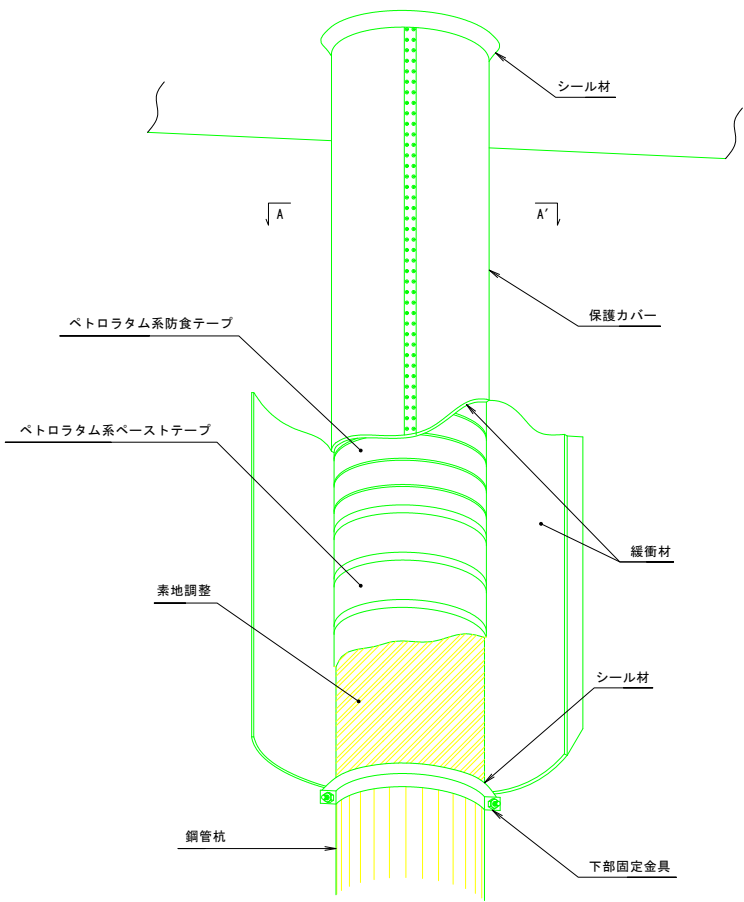
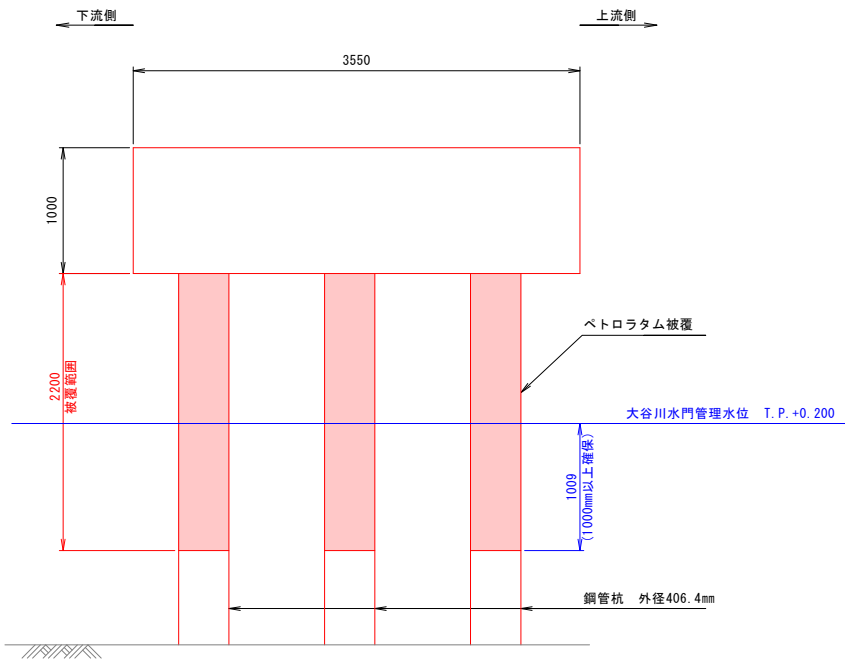
補修詳細図(その4)
大代谷橋歩道橋

ペトラタム被覆防食図

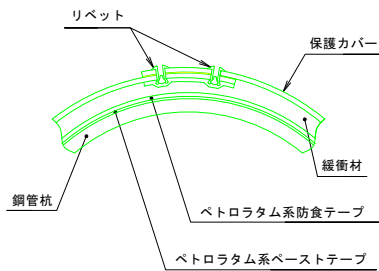
取付要領図

A-A' 断面図

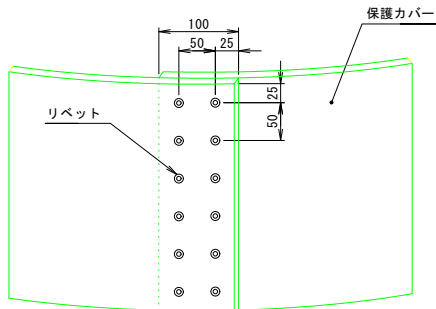
下部工正面図 P1橋脚 S=1:30



A部詳細



リベット配置図



被覆仕様

項目	名 称	材 質	規格・形状
素地調整	—	—	ISO St 2 以上
締結金具	リベット	SUS316	φ4、かしめ板厚4.8～8mm用
防食材	ベーステープ	ペトラタム系	JIS Z1903相当 t1、10%アップ 巻
	防食テープ		JIS Z1902 t 1.1、55%アップ 巻
保護材	保護カバー	FRP	鋼管杭用 t2、フランジレス
	緩衝材	発泡ポリエチレン	t10
下端金具	下部固定金具	SS400	L-40×40×t5
シール材	—	水中硬化形エポキシ樹脂	二液硬化型（主剤＋硬化剤）

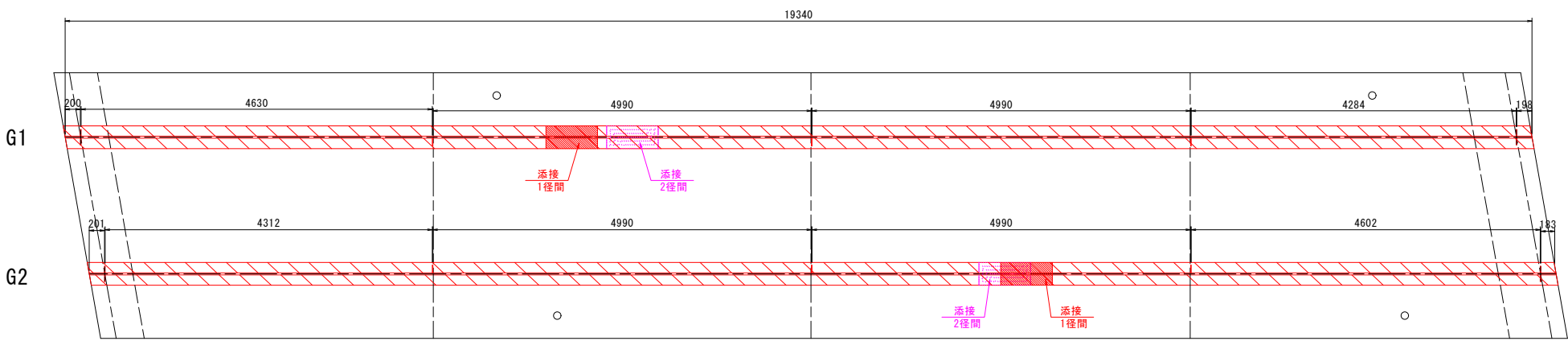
注) 保護カバーの色調については指示色とする

図面番号	第 5 号	図面総数	全 14 葉
工事名称	大代谷橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	補修詳細図(その4)		
製作年月	令和7年7月	所属年度	令和7年度
係員	課長	副課長	係 長
	係 員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

塗装塗替詳細図(その1) S=1:25

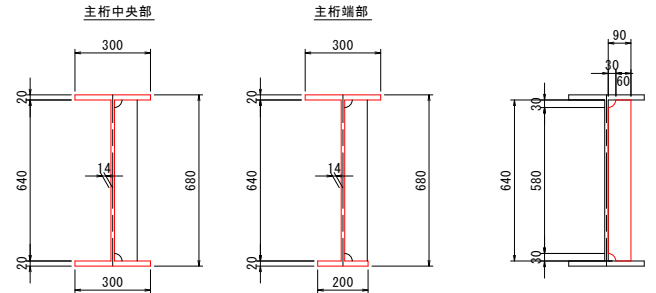
大代谷橋歩道橋
第2径間

主桁
第2径間 上フランジ

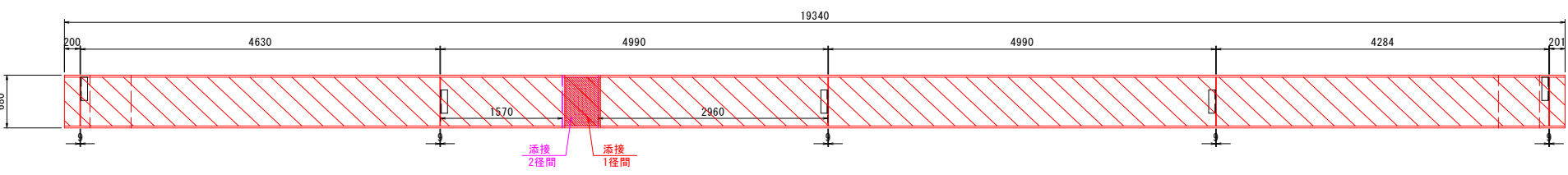


主桁断面図 S=1:15

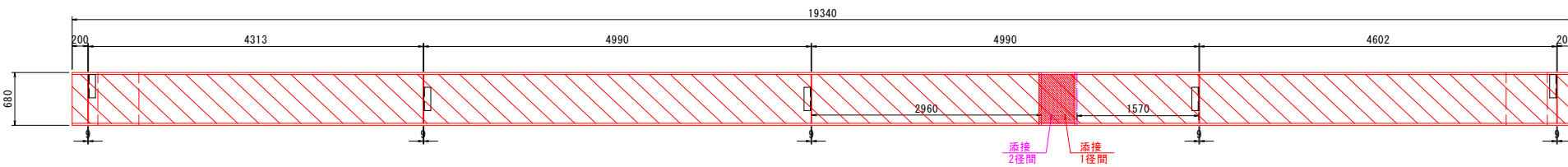
補剛材断面図 S=1:15



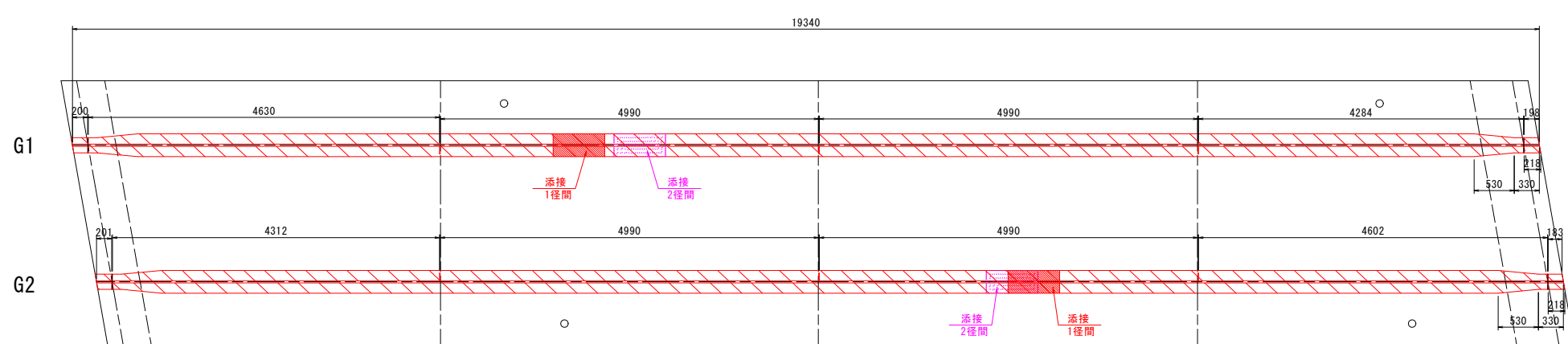
第2径間 G1 ウェブ



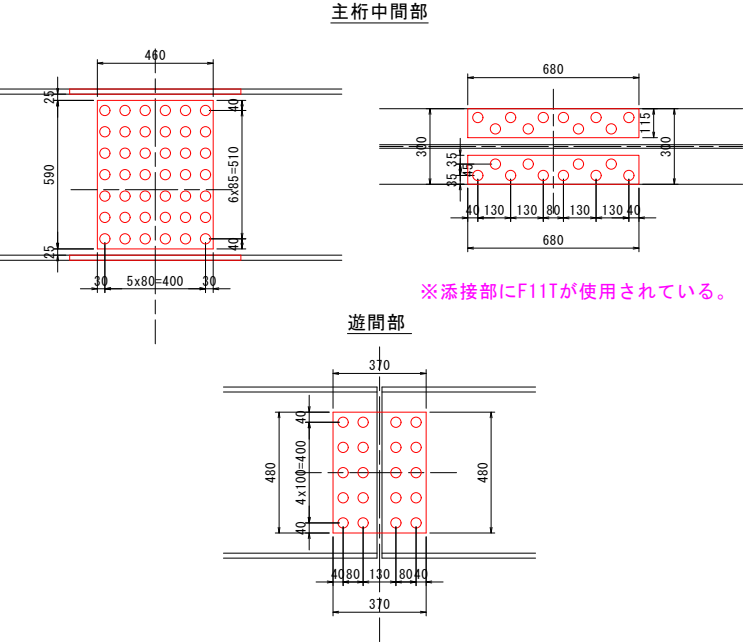
第2径間 G2 ウェブ



第2径間 下フランジ



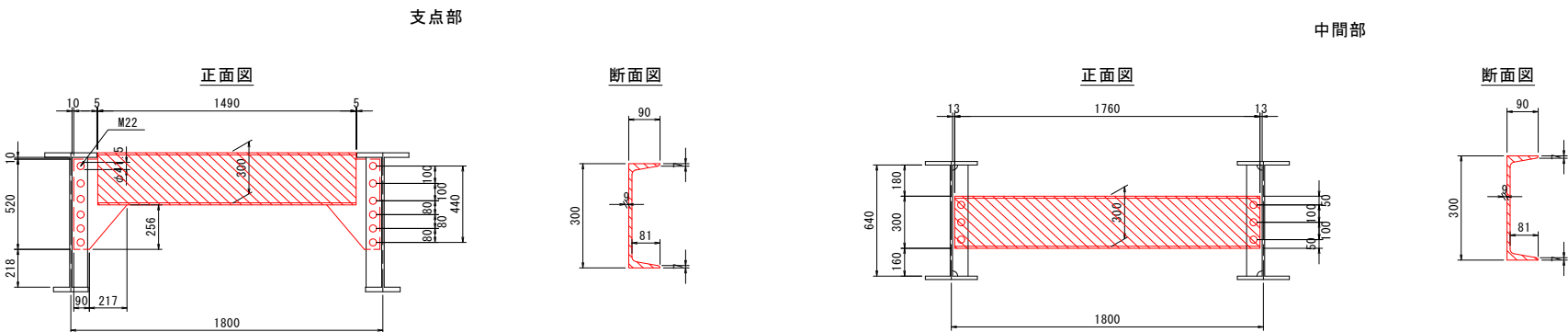
添接詳細図 S=1:15



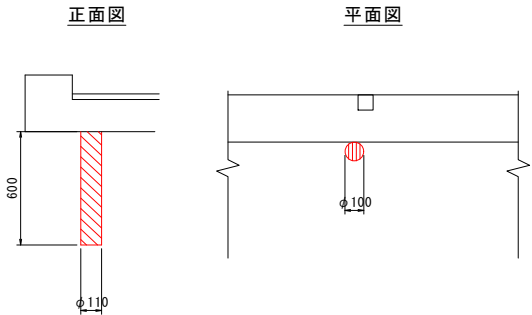
図面番号	第 6 号	図面総数	全 14 葉
工事名称	大代谷橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	塗装塗替詳細図(その1)		縮尺(A1): 図示
製作年月	令和 7 年 7 月	所属年度	令和 7 年度
係員	課長	副課長	係 長
			係 員
設計・製図			
照査			
鳴門市 都市建設部 土木課			

塗装塗替詳細図(その2) S=1:25
大代谷橋歩道橋
第2径間

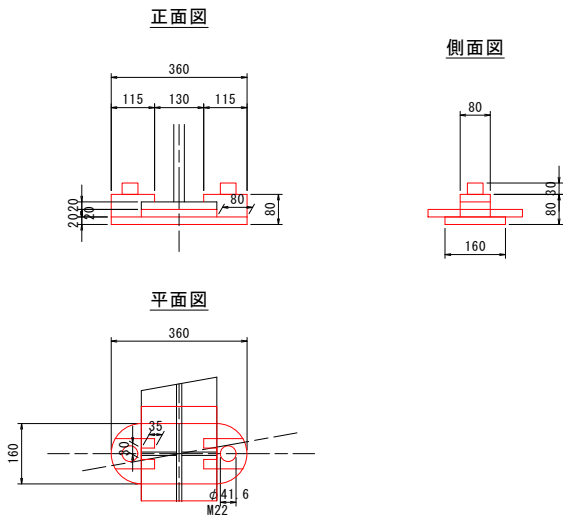
横桁詳細図 S=1:20



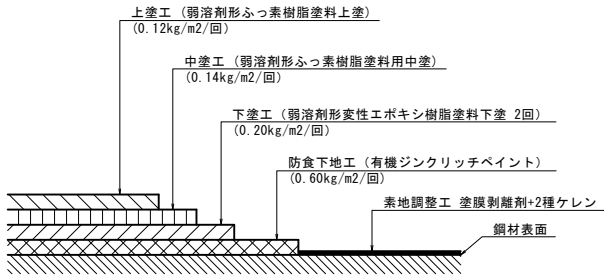
排水管 S=1:20
N=8箇所



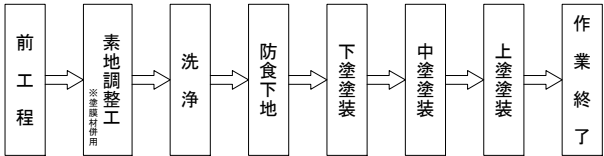
支承 S=1:10



塗替え塗装要領
(Rc-Ⅱ塗装系)



塗替塗装工フロー図



- ※留意点
- ・本橋梁は設計図書及び完成図書が存在せず、現地寸法計測により作図している。
 - ・工事の際には、足場設置後に寸法計測を行い、相違が無いことを確認すること。
 - ・本橋梁は塗膜調査の結果、鉛が含まれているため、塗膜剥離剤+2種ケレンによる素地調整を行う。
 - ・剥離剤は塗料との相性により剥離時間が異なるため、施工時に試験を行い、最適な材料を選定することが望ましい。

仕様一覧

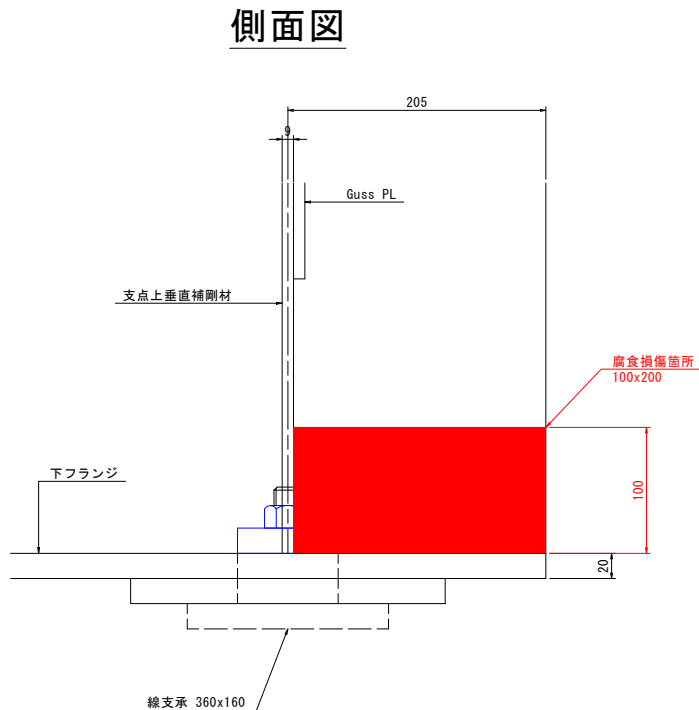
		(Rc-Ⅱ塗装系)	
塗装工程	塗料名	使用量 (g/m2)	塗装間隔
素地調整	塗膜剥離剤+2種ケレン		4時間以内
下 塗	有機ジンクリッチペイント	600	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
下 塗	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料下塗	200	1日～10日
中 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用中塗	140	1日～10日
上 塗	弱溶剤形ふっ素樹脂塗料上塗	120	1日～10日

図面番号	第 7 号		図面総数	全 14 葉		
工事名称	大代谷橋歩道橋橋梁補修工事					
図名	塗装塗替詳細図(その2)				縮尺(A1) : 図示	
製作年月	令和7年7月		所属年度		令和7年度	
係員	課長	副課長	係 長	係 員		設計・製図
						照査
鳴門市 都市建設部 土木課						

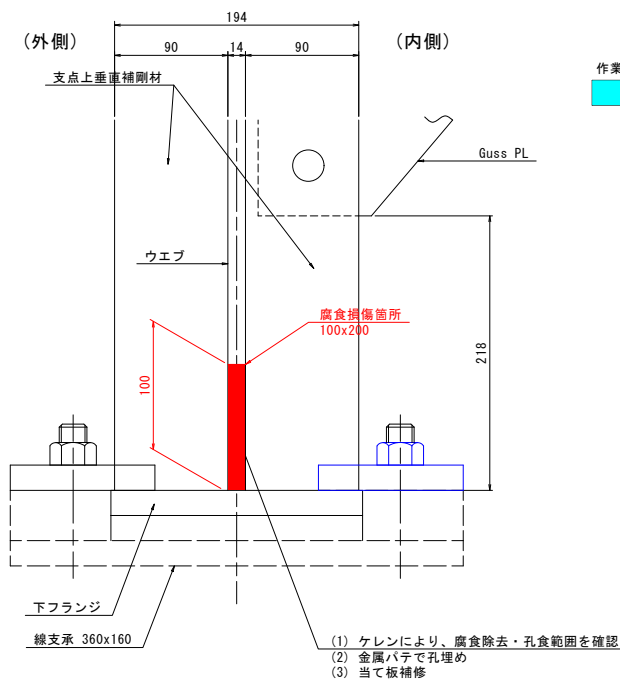
当て板補強詳細図(その1) S=1:3

第2径間 G1桁終点側(損傷箇所②)

現況図

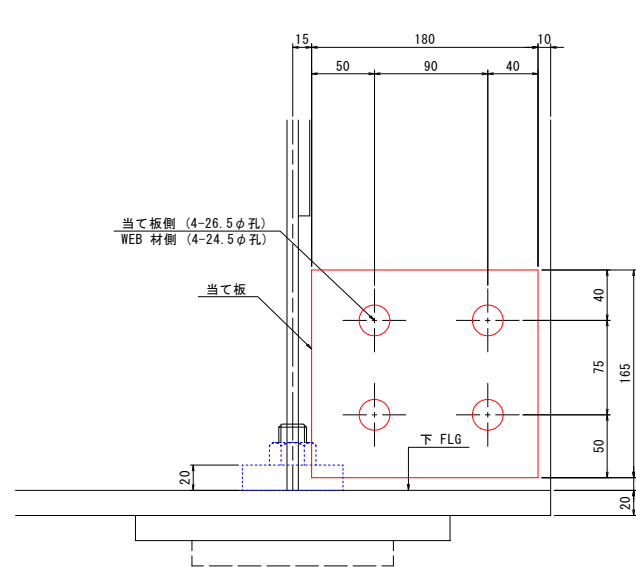


正面図

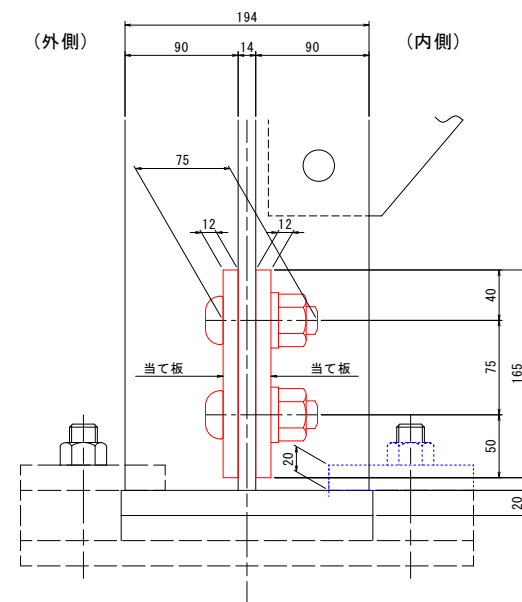


あて板補修図

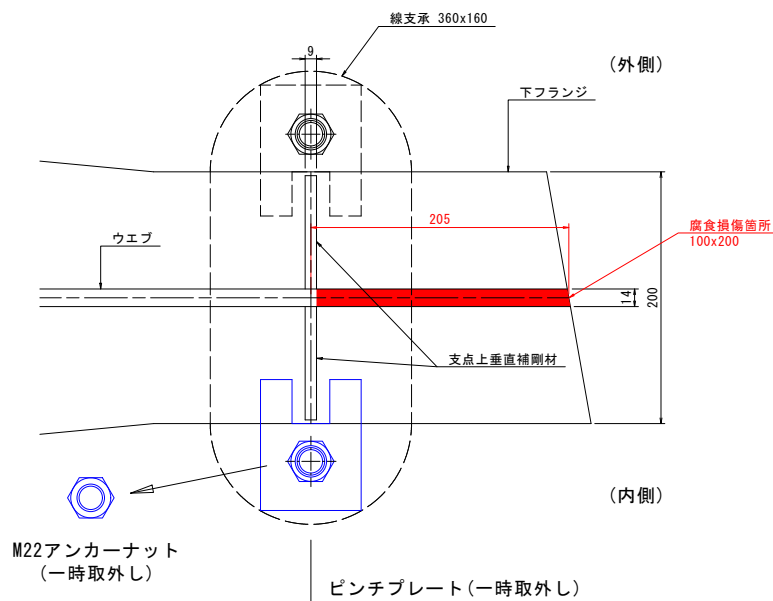
側面図



正面図



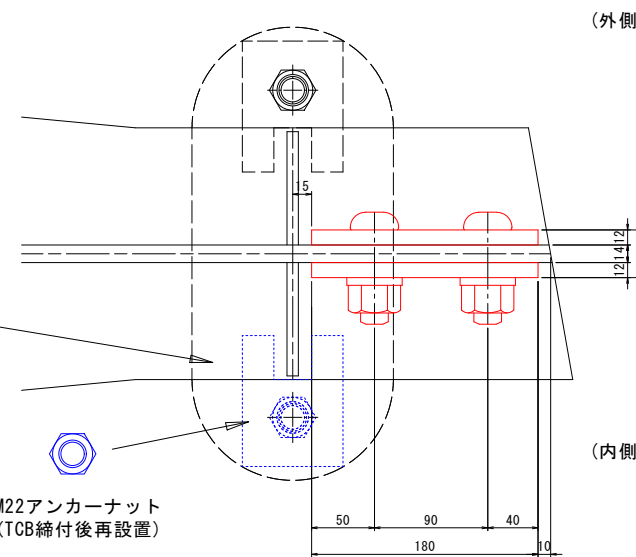
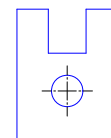
平面図



<施工要領>

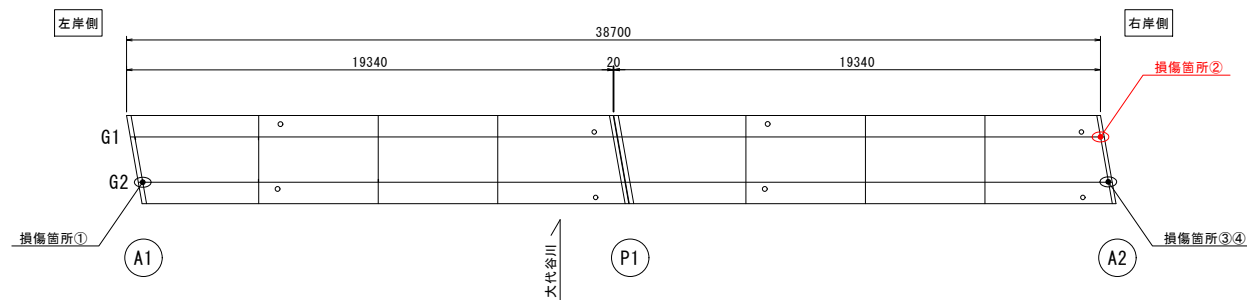
1. ケレンを行い孔食、減肉範囲を確認し、補修範囲を決定する。
2. 減肉、孔食箇所は金属パテで孔埋め補修を行う。
3. 金属パテで孔埋め完了後、当て板による補修を行う。

ピンチプレート (TCB締付後再設置)



鋼材数量(1箇所あたり・全1箇所)
2-WEB PL 165x12x180(SS400)
4-TCB M22x75(S10T)

位置図



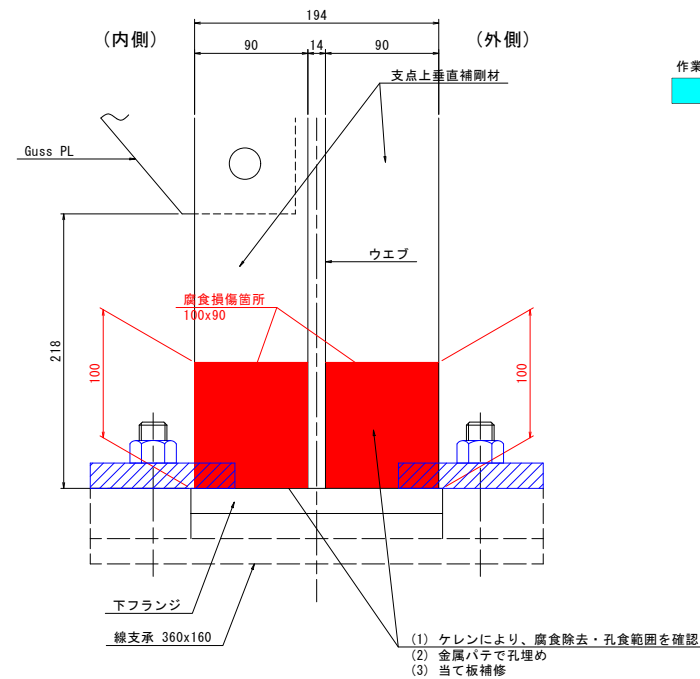
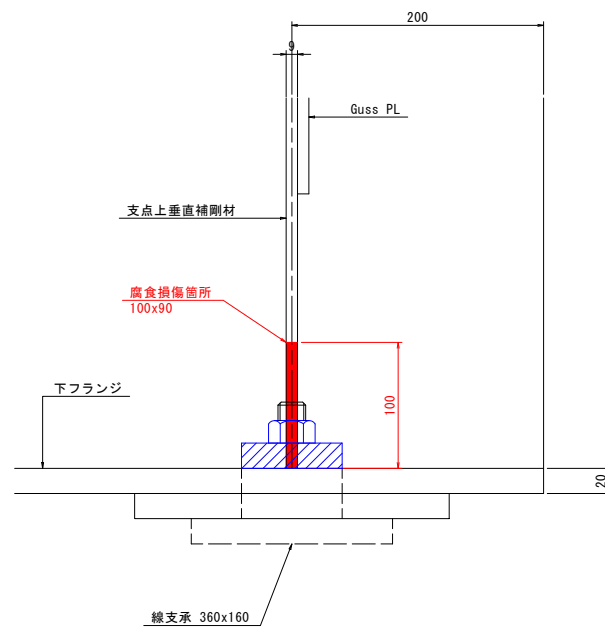
注)

1. 孔食、減肉範囲により、適宜あて板寸法を決定すること。

図面番号	第 8 号	図面総数	全 14 葉
工事名称	大代谷橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	当て板補強詳細図(その1)		
製作年月	令和 7 年 7 月	所属年度	令和 7 年度
係員	課長	副課長	係 長
	係 員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課			

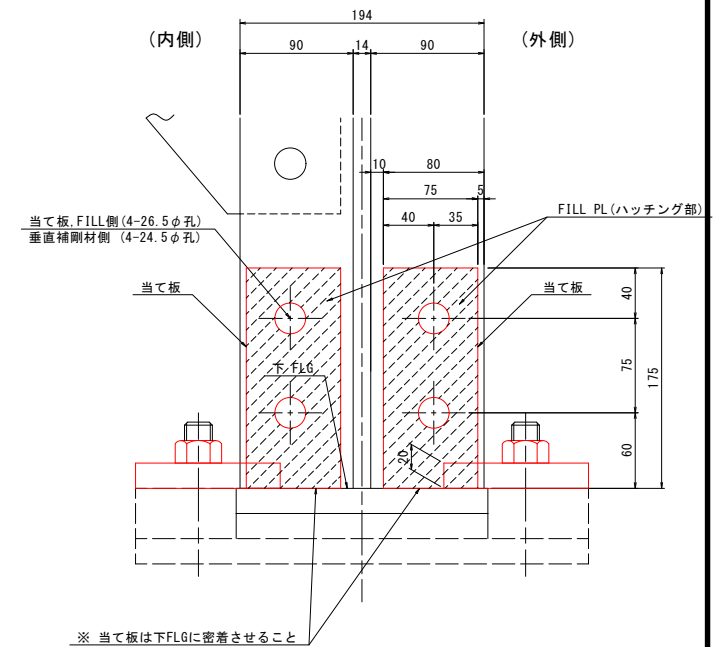
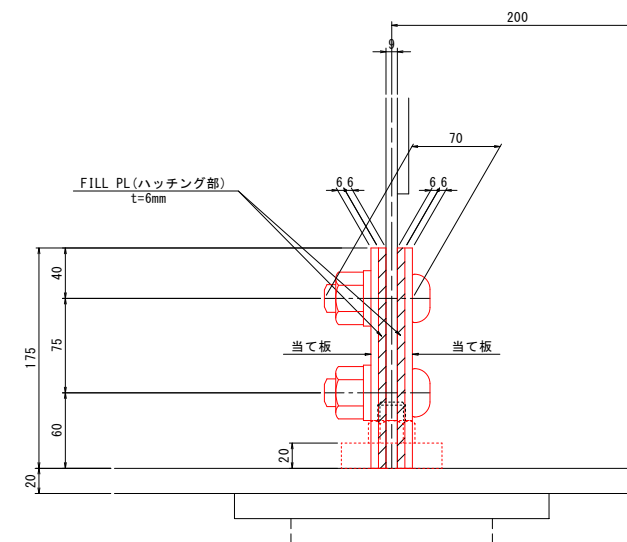
第2径間 G2桁終点側(損傷箇所③, ④)

正面図



作業順序

正面図



M22アンカーナット
(取替えのため撤去)

線支承 360x160

撤去

腐食損傷箇所
100x90

下フランジ

ウェブ

90

90

支点上垂直補剛材

141

200

腐食損傷箇所
100x90

撤去

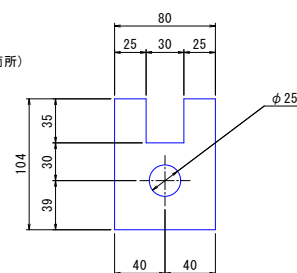
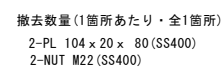
(内側)

(外側)

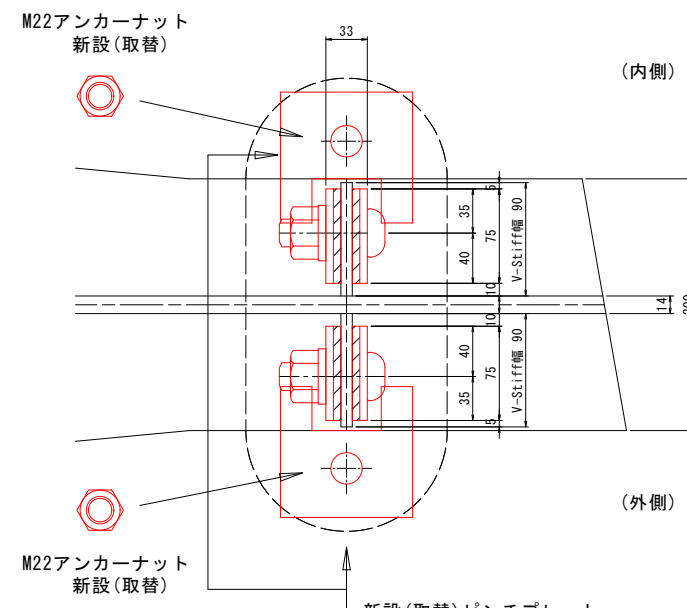
M22アンカーナット
(取替えのため撤去)

ピンチプレート取替えのため撤去

1. ケレンを行い孔食、減肉範囲を確認し、補修範囲を決定する。
2. 減肉、孔食箇所は金属パテで孔埋め補修を行う。
3. 金属パテで孔埋め完了後、当て板による補修を行う。

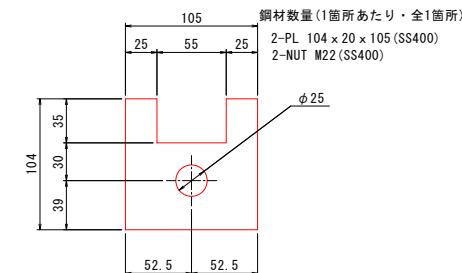


The plan view shows a rectangular bridge deck with a total width of 38700 mm. The deck is divided into three sections by two vertical centerlines, each section being 19340 mm wide. A central longitudinal slot is 20 mm wide. The left side is labeled '左岸側' (Left Bank Side) and the right side '右岸側' (Right Bank Side). Two horizontal rows of reinforcement are labeled G1 and G2. Three specific damage locations are identified: '損傷箇所①' (Damage Location 1) at the bottom-left corner near point A1; '損傷箇所②' (Damage Location 2) at the top-right corner near point P1; and '損傷箇所③' (Damage Location 3) at the bottom-right corner near point A2. A north arrow points upwards, labeled '大代谷川' (Daidatani River).



鋼材数量(1箇所あたり・全1箇所)

注)
1. 孔食、減肉範囲により、適宜あて板寸法を決定すること。



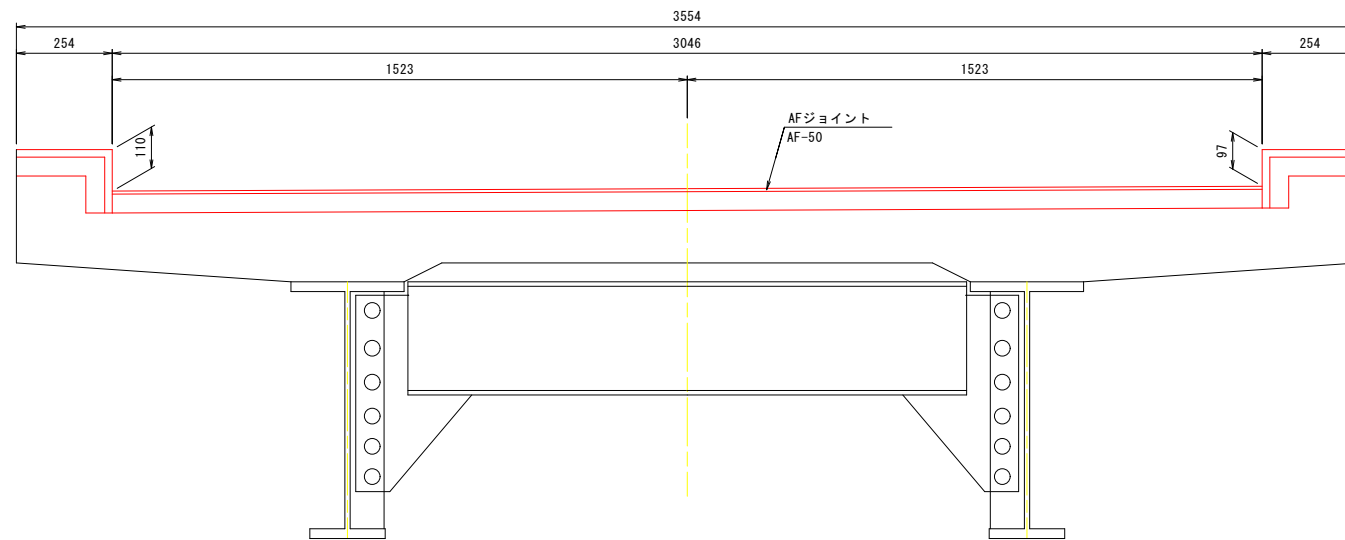
鋼材数量(1箇所あたり・全1箇所)
2-PL 104 x 20 x 105 (SS400)
2-NUT M22 (SS400)

図面番号	第 9 号	図面総数	全 14 葉			
工事名称	大代谷橋歩道橋橋梁補修工事					
図名	当て板補強詳細図(その2)		縮尺(A1): 図示			
製作年月	令和7年7月	所属年度	令和7年度			
係員	課長	副課長	係 長	係 員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課						

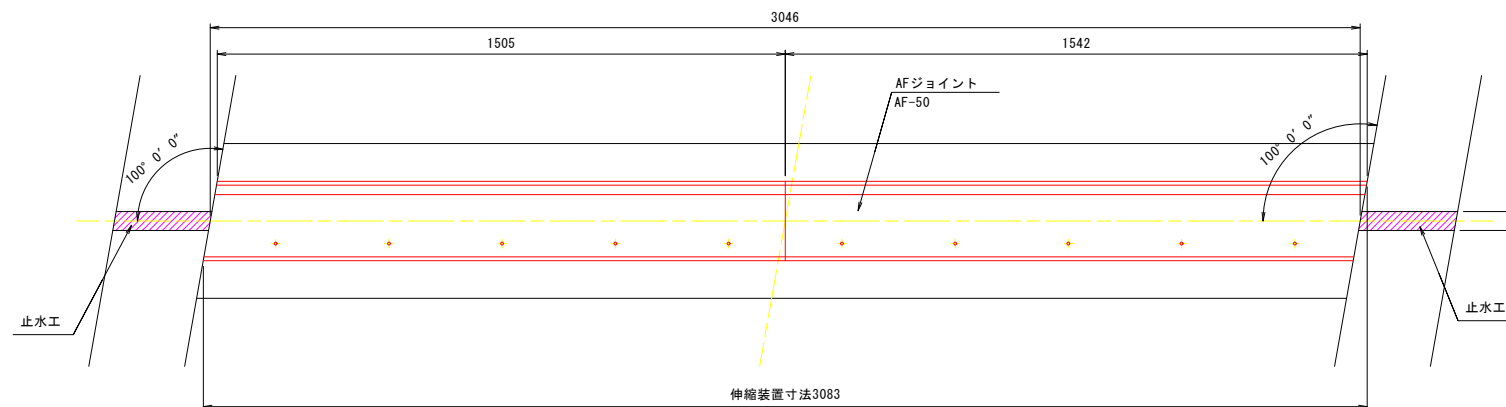
大代谷橋歩道橋

P1

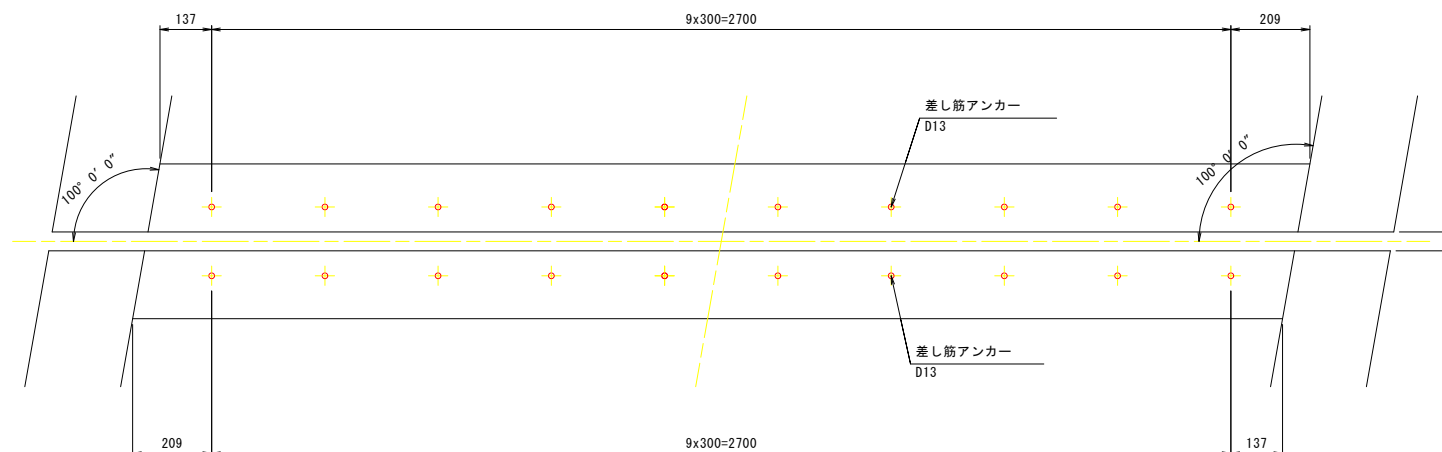
横断面図



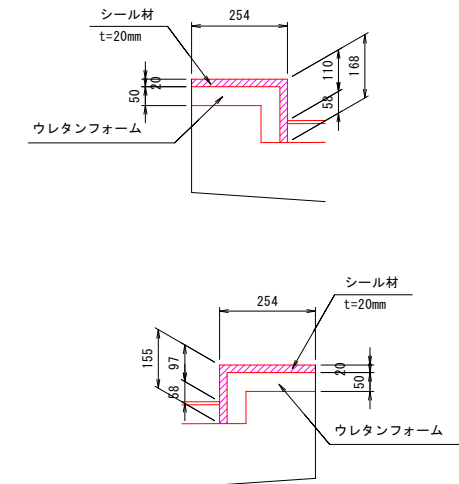
伸縮装置平面割付図



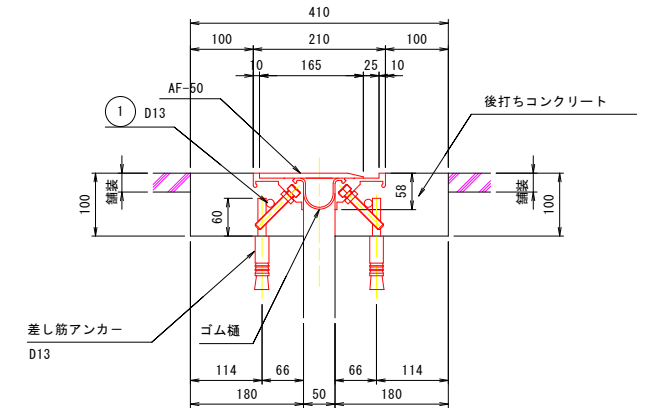
差し筋アンカー 平面配置図



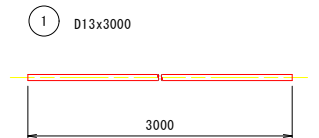
地覆部止水工詳細図



断面図 S=1:6



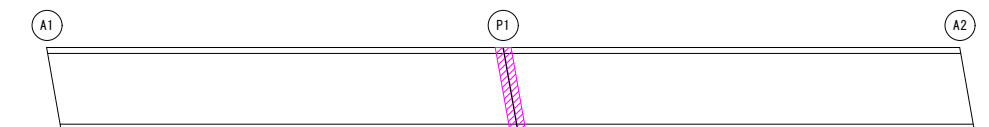
補強鉄筋加工図



材 料 表

品 名	仕 様 、 規 格	単 位	P1	備 考
AFジョイント	AF-50	m	3.083	本体、アンカー筋、ゴム槌一式含む
補 強 鉄 筋	① 2-D13x 3000	kg	6	
差し筋アンカー	D13	本	20	
後打ちコンクリート	ジェットコンクリート(超速硬)	m3	0.1	
端部ジャバラ蓋	Sタイプ	枚	2	
地覆部止水工	シール材	L	0.8	t=20mm
	ウレタンフォーム	L	0.7	50x70

位置図



注記

1. 現地調査を行い、図面寸法と照合を行うこと。
2. 上記調査結果より、必要な場合は設計変更すること。

図面番号	第 10 号	図面総数	全 14 葉
工事名称	大代谷橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	伸縮装置補修図		縮尺(A1): 図示
製作年月	令和7年7月	所属年度	令和7年度
係員	課長	副課長	係長
	係員		設計・製図
照査			
鳴門市 都市建設部 土木課			

大代谷橋歩道橋

[illegible]

平面図

無収縮モルタル

チップング (t=30mm)

300

250
(現況地覆幅)

既設防護柵支柱 (埋殺し)
70×70

断面図

250
(現況地覆幅)

無収縮モルタル

支柱切断

チップング (t=30mm)

30

170
(総定)

既設防護柵支柱 (埋殺し)
70×70

支柱内部無収縮モルタル充填

70

図面番号	第 11 号	図面総数	全 14 葉			
工事名称	大代谷橋歩道橋橋梁補修工事					
図名	防護柵取替詳細図(その1)		縮尺(A1)：図示			
製作年月	令和7年7月	所属年度	令和7年度			
係員	課長	副課長	係 長	係 員	設計・製図	照査
鳴門市 都市建設部 土木課						

大代谷橋歩道橋

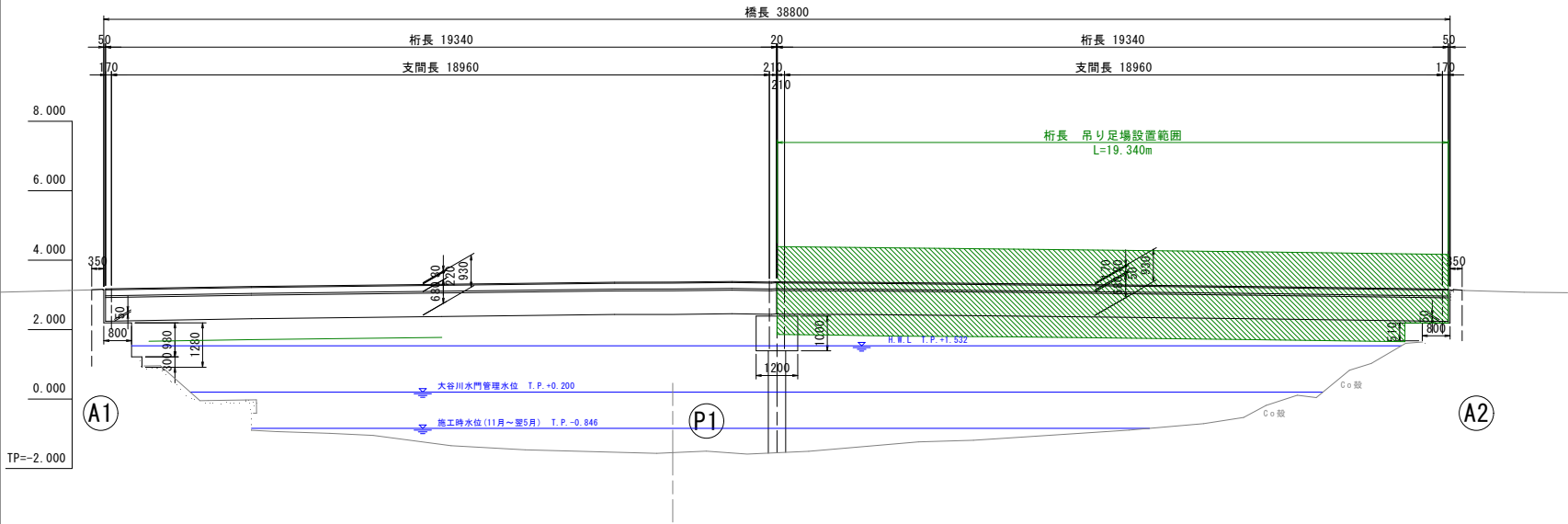
Technical drawing of a bridge deck cross-section. The drawing shows a rectangular cross-section with a total width of 2500 mm and a total height of 1100 mm (1200 mm clear height). The top and bottom reinforcement is shown as a series of vertical lines. The top reinforcement is labeled 13#162=2106. The bottom reinforcement is labeled 13#162=2106. The drawing also shows the location of the reinforcement bars relative to the centerline and the edges of the deck. The dimensions are given in millimeters (mm).

図面番号	第 12 号	図面総数	全 14 葉
工事名称	大代谷橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	防護柵取替詳細図(その2)		縮尺(A1) : 図示
製作年月	令和7年7月	所属年度	令和7年度
係員	課長	副課長	係 長
	係 員		設計・製図
鳴門市 都市建設部 土木課			

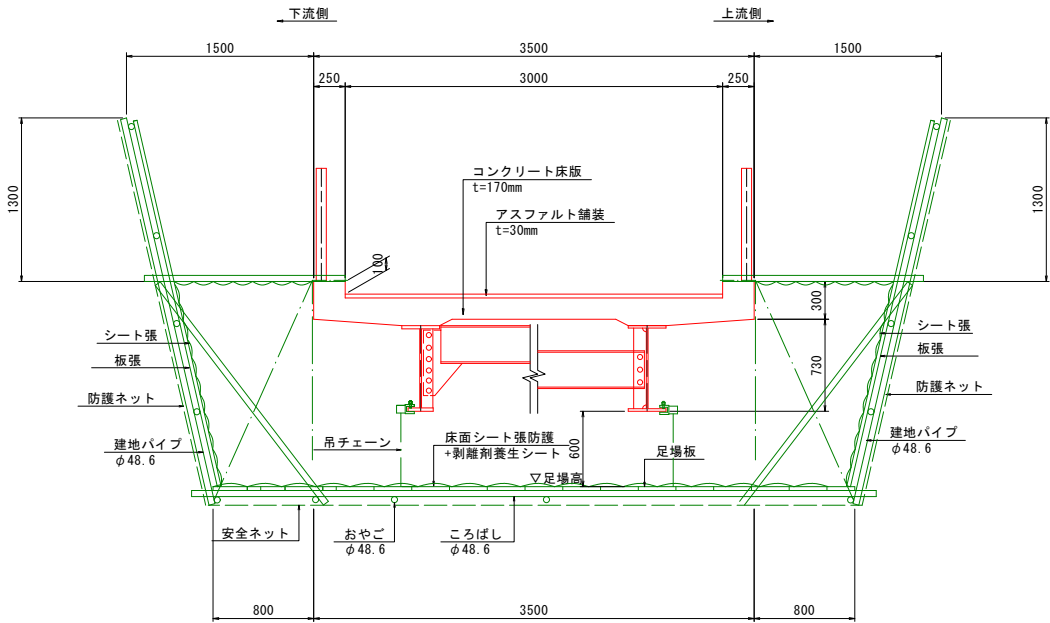
施工要領図(その1) S=1:100

大代谷橋歩道橋
(塗装塗替時)

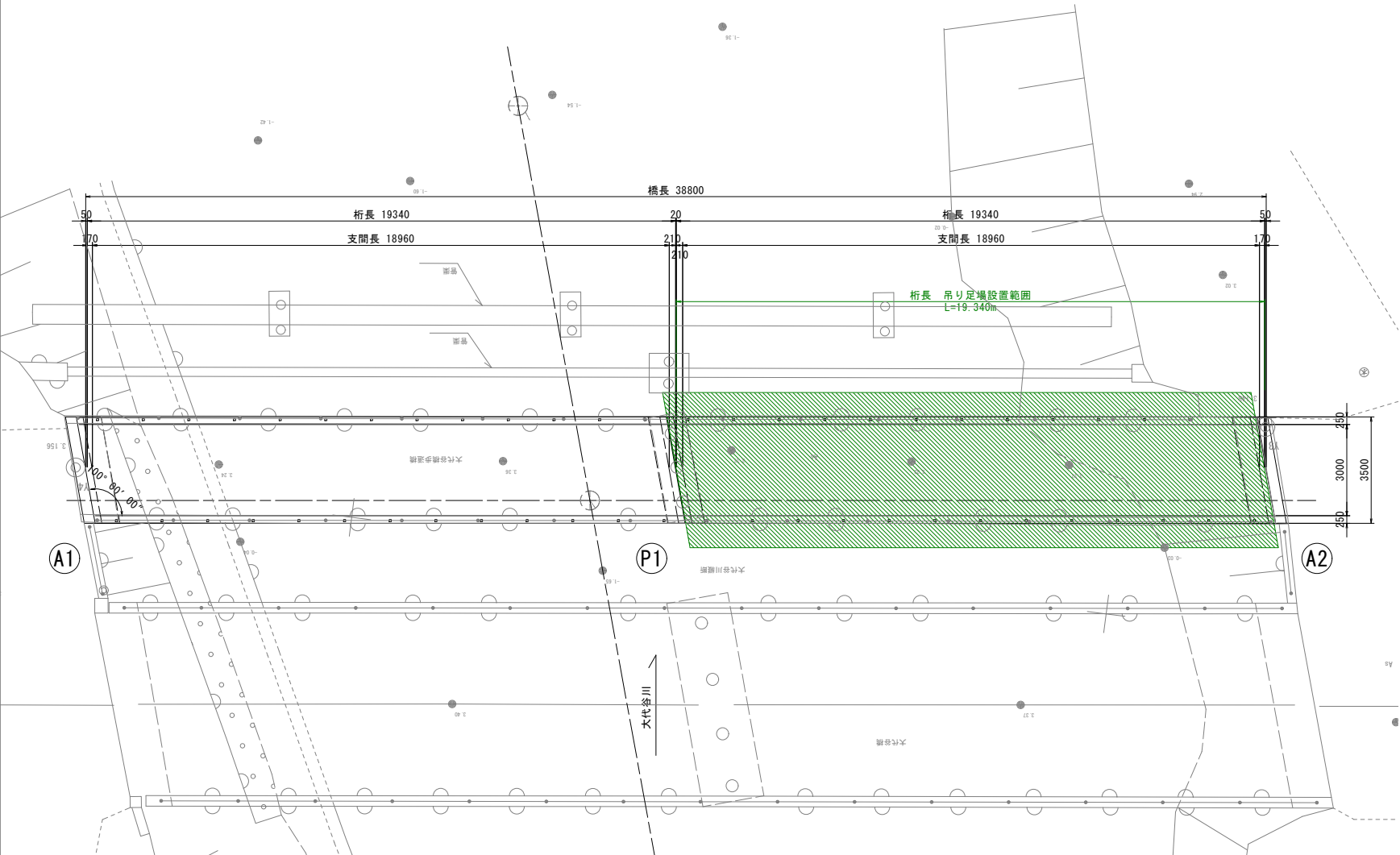
側面図



断面図 S=1:30



平面図

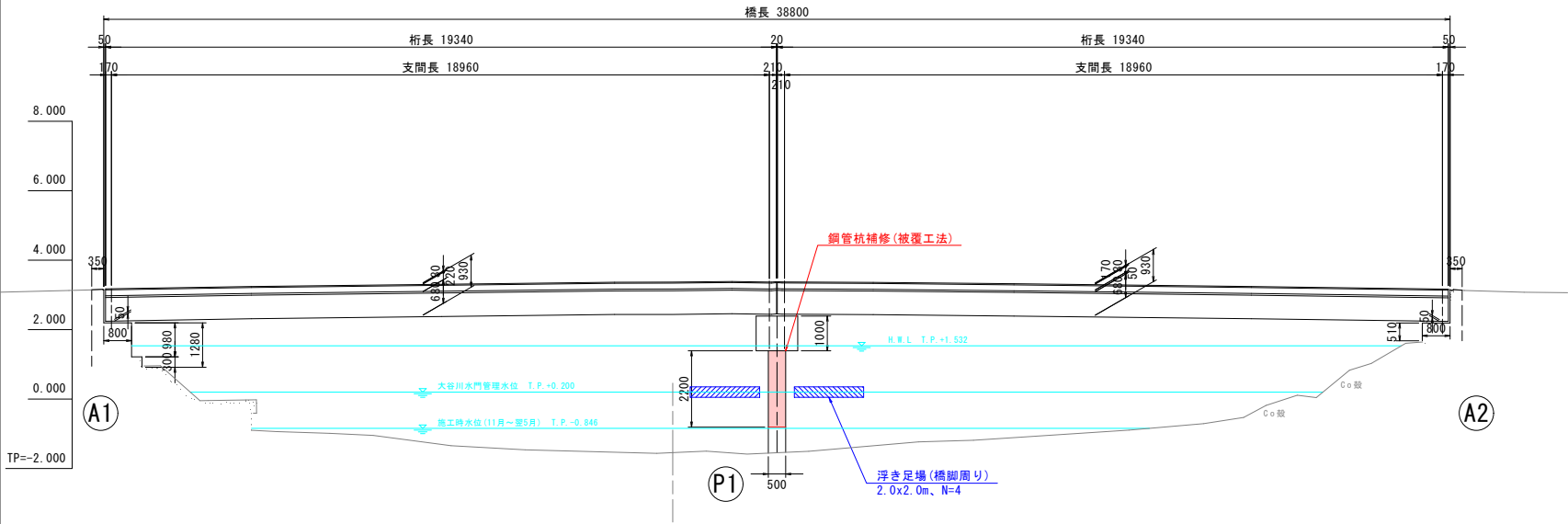


図面番号	第 13 号		図面総数		全 14 葉	
工事名称	大代谷橋歩道橋橋梁補修工事					
図名	施工要領図（その1）				縮尺（A1）：図示	
製作年月	令和7年7月		所属年度		令和7年度	
係員	課長	副課長	係長	係員		設計・製図
						照査
鳴門市 都市建設部 土木課						

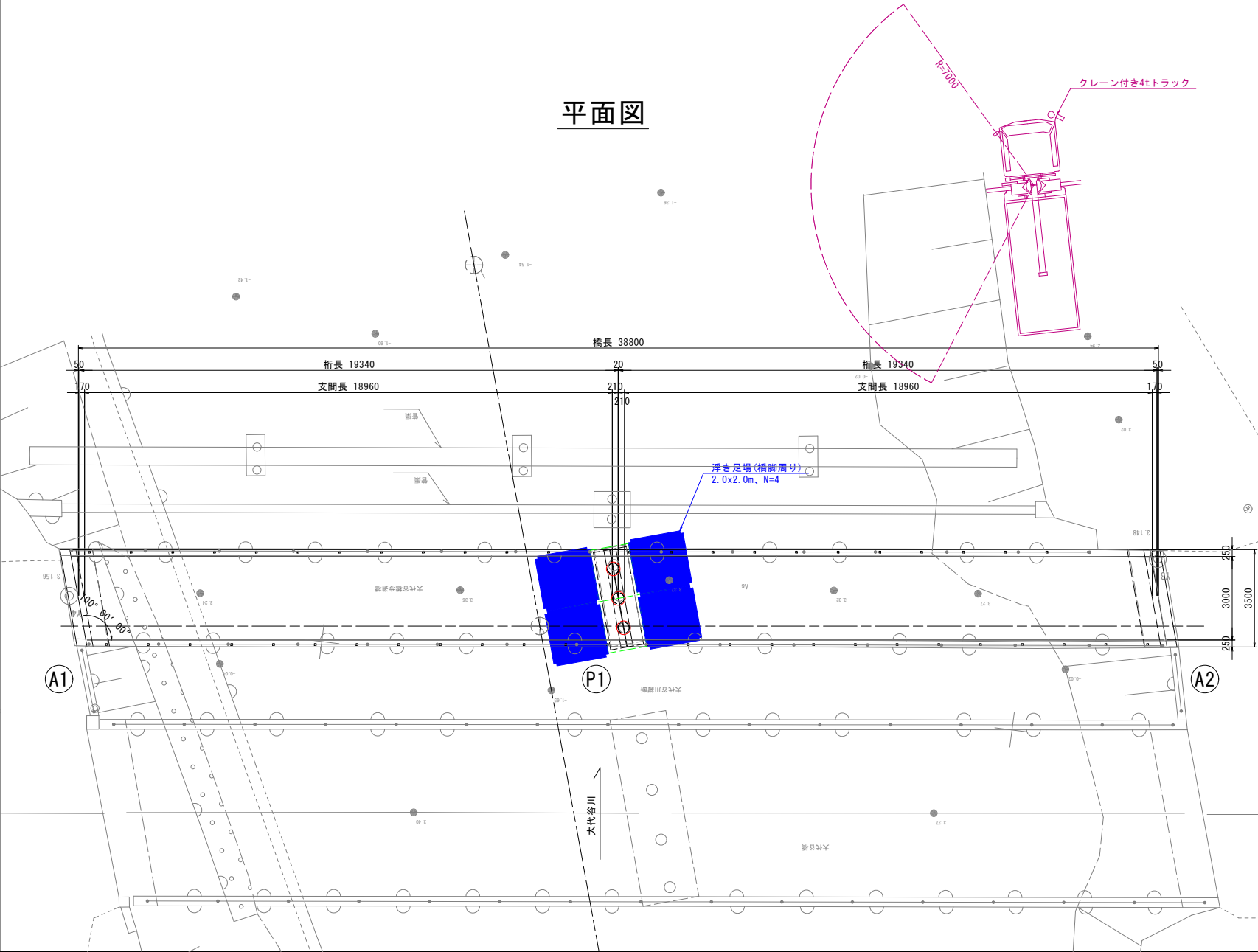
施工要領図(その2) S=1:100

大代谷橋歩道橋
(鋼管杭補修時)

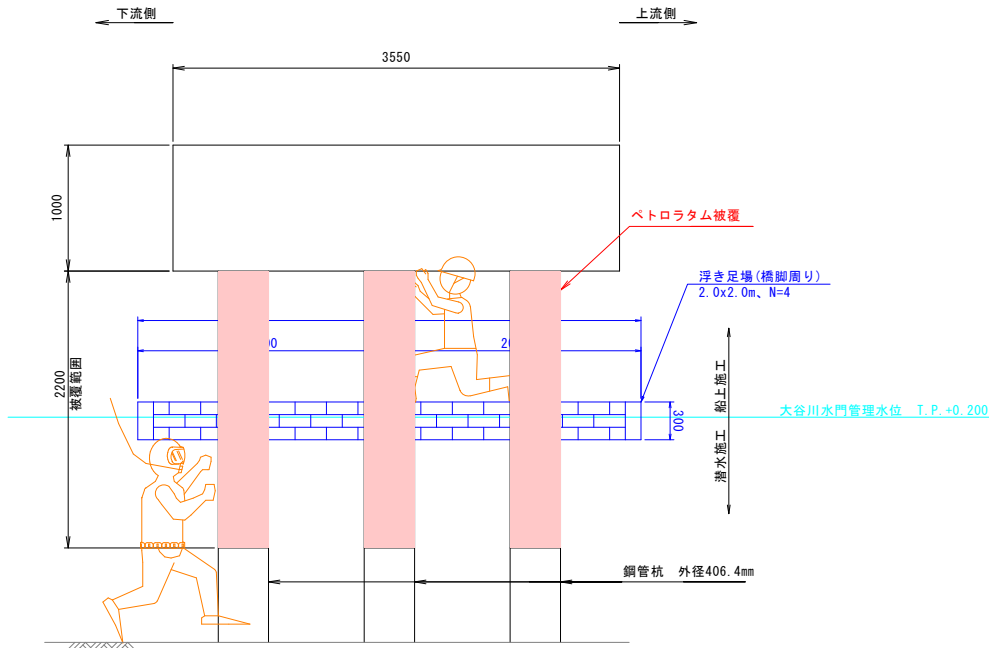
側面図



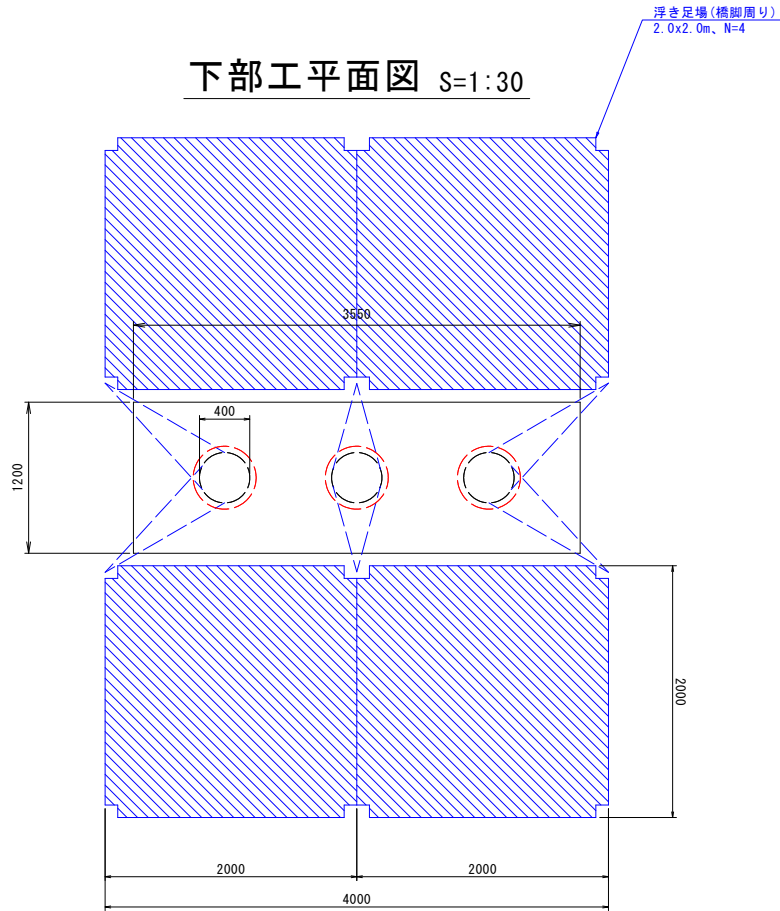
平面図



下部工断面図 S=1:30



下部工平面図 S=1:30



図面番号	第 14 号	図面総数	全 14 葉
工事名称	大代谷橋歩道橋橋梁補修工事		
図名	施工要領図(その2)		縮尺(A1) : 図示
製作年月	令和7年7月	所属年度	令和7年度
係員	課長	副課長	係長
鳴門市 都市建設部 土木課			